

INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963



Weekly Report



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ・スローガン ～ 慌てることなく発展していこう ～
誰かのため、謙虚に活力のある奉仕活動を

会長 田中芳明
幹事 小田光司

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（月3回）
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田中年度 第15回

通算第2760例会

令和4年1月13日

会長挨拶 第59代会長 田中芳明

皆様こんにちは！

現在、新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るい始めています。新年例会を開催いたしました先週の1月6日より感染者がすごい勢いで増えています。確か昨日の東京の感染者はとうとう2000人を超えました。2021年11月24日にWHOにより発表されてから僅か2か月余りで日本国内においても猛威を振るい始めています。それもオミクロン株は南アフリカという日本からもものすごく離れた国より出てきた株です。現在、全世界がいかに繋がっているかよくわかります。確か、オミクロン株が発表されてから日本政府はすぐに水際対策を行いました。しかし、この結果です。どんなに頑張っても日本国内の新型コロナウイルスを抑え込んでもここまで世界がつながると世界中で抑え込まなければ、新しい新型コロナウイルスの株が出てきてしまいます。今、先進国と言われる国はかなりのパーセンテージの国民がワクチンを2回接種しています。しかし、調べてみると世界的には90カ国でワクチン接種率が40パーセントに届いていないそうです。その中の36カ国では、ワクチン接種率が10パーセント未満、アフリカ大陸に住んでいる方はまだ85パーセントの方がワクチンを一回も接種していないそうです。そのような土地では新しい株が出てくる確率はかなり高いです。不幸中の幸いとして今回のオミクロン株はワクチンを接種した人は重症化しにくいそうです。しかし軽く見ていると感染力はものすごく強いといわれていますので、すごい勢いで感染し続けると人間の動きが取れなくなりインフラが立ちいかなくなります。社会が止まるという事態が起こってしまいます。又、インフルエンザにかかり死亡するリスクが1000人に1人だとすると新型コロナウイルスのオミクロン株にかかり死亡するリスクは約300人に1人だそうです。まだまだ怖いウイルスだと考えられます。

しっかりと手洗いとうがいを行い、ワクチンの接種ができる方は、ワクチン接種ができない方の為にも3回目の接種を行い、感染しない行動を心掛けていきたいと考えています。



幹事報告 幹事 小田光司

1. 竹駒保育園をはじめ各所から年賀状が届いております。
2. 地区より R2770 地区 You Tube 動画「みらいの扉-まっチャンネル」のご案内が届いております
3. 2022年1月のロータリーレートは1ドル=115円です。
4. ロータリー文庫デジタル化済資料廃棄の件のお知らせが届いております。
5. ハイライトよねやま Vol.261、財団室 NEWS2022年1月号、IEC NEWS No37が届いております
6. 大宮西 RC、大宮北 RC、大宮東 RC、岩槻東 RC、大宮北東 RC、大宮南 RC から1月の例会予定表が届いております。



◆次回の例会◆ 令和4年1月20日(木) 会員増強・選考委員会主管 点鐘：18:00 会場：ふな又

職業・青少年奉仕委員会主管

皆さんこんにちは。
職業・青少年奉仕委員長の関根です。
今日は私達の委員会の卓話ということで、「コロナ禍の事業維持と変革」をテーマに色々お話を伺えたらと思います。



職業・青少年奉仕委員長 関根信行

私の会社は葬儀社なのですが、コロナ禍になってから家族葬・一日葬・火葬式等、規模が縮小された小さなお葬式が主流となりました。お通夜の料理を振るまわなくなり、一件単価の売り上げは縮小しました。丁度弊社はその様なお葬式に力を入れていたので、件数で補い、会社自体の売り上げの減少は免れました。

又弊社では、事業再構築補助金という国の補助金の補助制度を使って、斎場を作ろうと事業を進めております。普通の斎場では無く、多目的ホールとして使える様に、特殊配筋施設として特化したものを作ろうとしております。かなり独創的なものになると思いますので。完成したら一度、遊びに来てください。



職業・青少年奉仕委員会 小林利郎

私は23歳から起業し、今に至り、コロナ禍に於いて事業へのダメージは少なからずあると感じております。ブリヂストンという会社にお世話になりながら、又お世話をしながら事業を継続しております。

今世間ではSDGs「持続可能な開発目標」やサステナビリティ「持続可能性」が求められております。

私も60歳です。創業してから37年経ちました。一代で会社を100年続けた方はいないと思いますので、

私はあと63年、123歳まで頑張っただけを目指します。まだまだこれからの可能性という選択肢の中で色々やっていかなければいけないという気持ちはあります。

今回は、限られた時間の中ですが、創業や事業の話の少し出来たらと考えております。

まず有名な話ですが、靴のセールスマンという話を聞いたことあると思います。

2人のセールスマンが南の島に靴の市場調査に行ったら、その島では誰も靴を履いてなかった。1人のセールスマンは、誰も履いていないから靴は売れないと思い、すぐ本国に帰ってしまいました。

残りの1人は、「ここにはまだ靴を履いている人がいないのでこれから凄く売れる。」と本国に連絡して靴を大量に送ってもらい、その靴を売り歩いたという有名な話がありますね。

本当に考え方、捉え方で商売は成り立つのだと思います。いつまでも勉強ですからね。

弊社では「ブリヂストン」のタイヤの販売を多く取り扱っています。石橋正二郎氏が創業者なのですが、「石橋」を英語に直すとストーン・ブリッジですよね。創業当時「ストーン・ブリッジ」という社名にしようとして検討したがどうもゴロが悪いということで、ブリヂストンと社名を決めたそうです。橋の両岸には必ず要石があり、世の中で重要な役割をもった会社になりたいと考え、「最高の品質で社会貢献」というスローガンが社是にもなり会社をスタートしたわけですね。



石橋正二郎氏

この話は、私達、岩槻ロータリークラブが中期計画で掲げた。

社会のキー・ストーン（要石）になろうと言う話にも似ています。

話は少しかわりますが、今では空気入りタイヤは当たり前ですが、当時ではタイヤはゴムが主体でした。中にチューブが無かったのです。

イギリスのジョン・ボイド・ダンロップ氏（人獣医師）が息子のジョニーから自転車競争のレースに勝ちたいと懇願され、その時は練習しなさいと叱ったそうですが、息子さんが練習中に自転車を壊してしまった。その時に見た自転車のタイヤの構造からチューブを

職業・青少年奉仕委員会主管

入れる事を着想し、今の空気入りタイヤを発明したという事です。それから今世界中にあるタイヤの基礎が生まれました。

ブリヂストンはミシュランを抜いて、世界一タイヤを売る会社になりました。しかし去年は初めて赤字を出しました。ブリヂストンでは共存共栄と常々言われております。パナソニックにも似た制度がありますね。ノルマの様な制度、縛り、制約もあります。ですが、一緒に苦労して行こうという思いがあります。その代わり何かあった時には守られる。そうした事で誰かを守れる事があると学びました。

この前、三浦パストが話していたカーネル・サンダース氏の話ですが、彼はこの世で一番有名なロータリアンかもしれませんね。彼は10歳の時から農場で働いていて、14歳で学校を辞めた。世界大恐慌の時にはガソリンスタンドを経営されていたそうです。

そこのお客さんから「食べ物を提供するサービスをやってくれ」と言われ、「サンダース・カフェ」を併設して始めました。そこで、ケンタッキー・フライドチキンの製法を確立して、売れたのですが、高速道路がどんどん出来て車通りが少なくなってしまう、それまで何店舗かで作った借金もあって、60歳の時にはもう文無しだったそうです。

そこで彼はワゴンカーに従業員とフライドチキン調理器具を積んで、アメリカ中を宣伝して歩いたそうです。それでやっとフランチャイズ化して、今のケンタッキー・フライドチキンがあるという。カーネル・サンダースは60歳で文無しだった。私も今60歳、まだ頑張れる、励まされる、そんな気持ちになる訳です。



全国のトラック台数がまだ204台しかなかった1919年、ヤマト運輸は銀座でトラック4台を保有するトラック運送会社としてスタートしました。当時は混載便しかしていなかったそうです。



ヤマト運輸「宅急便の歩み」より

その中で日本でも高速道路が出来、長距離運送が流行り出しました。ヤマト運輸はその事業で出遅れてしまい、当時は経営の危機まで追い込まれました。そんな中社長は、今では当たり前になっていますが、自宅まで荷物を取りに行き届けるという事を、社員の猛反発を押し切り事業として推進しました。

当時、郵便小包は6キロまでと規制があり、しかも、鉄道迄持って行くと言う事が世の中の常識でした。その様な所で先見の明を光らし「宅配便」を始めたそうです。創業初期は11個しか荷物が無かったそうです。それでもどんどん全国にその拠点を作っていて、採算ベースに乗せたという事です。

これは並大抵の努力じゃないと、採算取れるレベルじゃないっていうのが凄く良く解る話ですね。

最後に私が心に刻んでいる話を一つ。今のソニーの前身を作った井深大氏と盛田昭夫氏、東京通信工業の冒頭にこんな一文があります。

「真面目なる技術者の技能を、最高度に発揮せしむべき自由闊達にして愉快なる理想工場の建設」という設立趣意書です。



1946年、井深大氏と盛田昭夫氏は、日本橋の白木屋3階に「東京通信工業株式会社」を設立。(ソニーグループ会社沿革より)

私達ロータリアンと共通していると感じております。やっぱり自由闊達、愉快なクラブ、そして真面目に職業を通じて培った能力とか知識を活かして、しかしふざけることなく、時にはふざけてもロータリーの格を大事にしながら活動して行こうという、そういう事に置き換えながら皆様にお世話になっております。勇気を持ってみんなでこのコロナ禍、乗り越えて行ければと思います。



奉仕・支援部門 部門委員長 出山知宏

力強いお話を頂いたので、それに繋がる話が出来たらと思います。

私は今年始まる前に、書を買いました。阪急阪神東宝グループ創業者で、政治家でもある小林一三氏の座右の銘で「金がないから何もできないという人間は 金があっても何もできない人間である。」と記された書を買いました。お金があっても無くてもやろうと思えば何でも出来るという事です。きっとこの書にはこんな思いが込められているのではないかと感じました。

「原因は外部的な要因」
 お金が無いから何もできないという人に、お金が入ってきたら何ができるのかといたら、おそらく、今は時間が無い、その知識がない、やろうと思ってもリスクがあると色々な事を考えて、恐らくその方は、「外部要因」で理由を探すのでしょう。

「原因は内部的な要因」
 自分の意識とか行動とか自分の考え一つでいろんなことが出来ると言う事だと思います。
 ただ懸念が一つありまして、デジタルです。今何をやってもデジタル・ネットがぶつかってくるのです。物を売る事でも、人を動かす事でも何もかもがデジタルになり、そこを通らないと商売さえも出来なくなってしまうのではないかとそういうふうに思います。

内閣府のホームページに、2050年までに実現したい「ムーンショット目標」が掲げられております。(ムーンショット型研究開発制度) Facebookの「メタ」じゃないですけど、もう仮想空間の話ですよ。日本は比較的世界から比べるとデジタルの分野に関しては遅れていると言われているのですが、この2050年にAR、VR、MRについて、(内閣府のホームページを)見ていただければ、皆さんそれぞれ感じるものがあると思います。

夢物語の話がもう現実問題、身近に来ているので、

そこは克服していかなくちゃいけないと思っております。
 自分が克服するか、その得意分野を持っているこれからの時代の人とタイアップしてやっていくか。何はともあれ自分で行動しないと、道は切り開けないと思いつつながら、座右の銘を今年は生かして頑張っていきたいと思っております。



内閣府ホーム > 内閣府の政策 > 科学技術・イノベーション > ムーンショット型研究開発制度 > ムーンショット目標

スマイルBOXより

- 荒井 治 本日もよろしくお祈りします。
- 小田光司 よろしくお祈りします。
- 小林利郎 よろしくお祈りします。
- 小林佑次 よろしくお祈りします。
- 関根信行 本年もよろしくお祈り致します。
- 田中芳明 関根委員長、本日は宜しくお祈り致します。
- 田畑寛樹 職業・青少年奉仕委員会の皆様の卓話を楽しみにしております。皆様、本日も何卒宜しくお祈り申し上げます。
- 出山知宏 よろしくお祈りします。
- 中村 正 卓話よろしく！
- 三浦宣之 宜しくお祈りします。

| スマイル報告 | |
|-----------|-----------|
| 本日のスマイル合計 | 13,000 円 |
| 年間累計額 | 411,000 円 |

| 出席報告 | | | | |
|------|-----|-----|----|--------|
| 会員数 | 出席数 | 免除者 | MU | 出席率 |
| 28 | 11 | 1 | 0 | 42.86% |